

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	( )
担当部課名	経済部	産業振興	課	産業政策 班
事務事業名	経済部職場研修		事業コード	31110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	活力ある産業の振興	9年度
施策名	第1施策	総合的な産業振興施策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市職員研修規定
------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
職員の勤務能率の発揮及び増進		経済部職員	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
経済部新任職員研修 政策課題研修 視察派遣研修(先進地視察) 専門派遣研修(中小企業大学校等)		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	244	351	312	415	
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	244	351	312	0	415
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%> )	= 、 、 の平均値 =
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 経済問題を取り扱っている以上時代変化に対応した内容とすることは当然のこと
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 視察派遣研修については、特にその都度必要性を精査する必要がある。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 :
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 :
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 :

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--